

令和 8 年第 2 回嬉野市議会定例会

一般質問通告書

嬉野市議会

令和 8 年第 2 回嬉野市議会定例会一般質問通告書

発言 順番	議席 番号	質問者氏名	質 問 事 項 及 び 要 旨	頁番号
1	12	森田明彦	うれしの温泉本通り商店街「街路灯」について	1
			今寺三本桜から嬉野中学校を経由する県道への街路灯設置について	
			嬉野市におけるAI導入の現状と今後の展開について	
			中東情勢の混乱による嬉野市への影響の把握と対応について	
2	5	古川英子	令和 7 年 9 月提出の健康づくりについての政策提言について	2
3	7	諸上栄大	プロポーザル方式について	3
			市内の小学校・中学校について	
			新庁舎建設について	
4	3	水山洋輔	塩田町の滞在型観光振興について	4
			道路計画について	
			物価高対策について	
5	4	大串友則	新幹線嬉野温泉駅前「民間活用エリア」の開発遅延と今後の対応について	6
6	14	芦塚典子	指定管理者制度について	7
			文化財の管理と保存について	
			治水事業について	
7	1	太田政信	市内のキャッシュレス化について	8
			電子契約導入及び押印見直しについて	
			AI活用および業務改革について	
8	15	梶原睦也	避難所の環境整備について	11
			給水スポットの整備について	
			会計年度任用職員と任期付き職員について	
9	9	山口虎太郎	温泉資源保護について	12
			旧医療センター跡地活用について	
			地域交通手段について	
10	6	阿部愛子	高齢者の難聴に対する支援について	13
			妊婦健診助成拡充について	

発言 順番	議席 番号	質問者氏名	質 問 事 項 及 び 要 旨	頁番号
11	2	團隆則	伝統産業の業界活性化について	14
			企業誘致の方向性について	
			買い物・移動支援について	
			子育て支援の施策について	
12	10	宮崎良平	中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格高騰への市の対応について	16
			市の財政運営について	

一般質問 日程	6月15日	森田明彦、古川英子、諸上栄大、水山洋輔、大串友則
	6月16日	芦塚典子、太田政信、梶原睦也、山口虎太郎、阿部愛子
	6月17日	團隆則、宮崎良平

様式1号

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8 年 5 月 18 日

通告者(議席番号 12 番)

森田明彦

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市 長	1.うれしの温泉本通り商店街「街路灯」について	① 当該地域の街路灯について、現状をどのように把握し、認識されているか。 ② 観光客や市民の往来が多いメインの通りであるが、設置時から年数が経ち、電源接続上の問題や経年劣化により景観上でも問題がある。 しかし管理する一部行政区を含む団体でも維持管理に苦慮されている。市と管理する団体と、今後の対応について協議していただきたいと考えるが如何か。
市 長	2.今寺三本桜から嬉野中学校を經由する県道への街路灯設置について	① 今まで、複数の議員から、市民や通学の生徒ふくめ夕方の利用もあるので、街路灯設置のお願いした経緯があるが、県道での街路灯設置は無理との見解を示されてきた。しかし現在も地域住民からの街路灯設置の要望が多い。 場所によっては設置されている箇所もあると認識するが、改めて、県にもお願いしていただきたいが如何か。
市 長 教 育 長	3.嬉野市における AI 導入の現状と今後の展開について	① 庁内業務のデジタル化について、AI—OCR（AI 技術を用いた文字認識）及び RPA（ロボットによる業務効率化）等の活用は。 ② 教育現場での生成 AI の校務利用等の現状及び今後の展開は。 ③ AI 導入支援事業を行うテクノデータサイエンス(株)と嬉野市との進出協定締結式が令和8年5月に行われたが、今後、協定企業の事業への導入や活用も視野に入れておられるのか。
市 長	4.中東情勢の混乱による嬉野市への影響の把握と対応について	① 様々な報道のとおり、市内複数の業界からも入荷の減少や遅れなどの声を聞く。嬉野市としての対策はどのようなことが可能か。

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8 年 5 月 18 日

通告者(議席番号 5 番)

古川 英子

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	令和7年9月提出の健康づくりについての政策提言について	1. 予防医学的な取り組みや健康づくりへの気運の醸成と取り組みが重要になってくると考え、提言提出時に検討し、議会に結果を報告するよう求めているが、その後検討はされたのか。 2. 政策提言の中で、嬉野市の国民健康保険の1人当たりの医療費が、令和5年度のデータで全国が28,443円、佐賀県が35,567円、嬉野市が37,559円と約1万円程度全国に比べて高いと指摘しているが、このことについてどう思われているか。 3. 市内に医療機関が多数あり、治療が受けやすい環境だが、予防医学の視点が弱いのではないかという指摘に対してはどう考えているか、また、新たな健康づくりの事業への展開と医療機関との連携に関しては如何か。 4. 将来的に健康寿命の延伸や医療費抑制のために、若い時から健康に対する意識の醸成に向けた取り組みが必要、と指摘されているが如何か。 5. 政策提言のひとつに、「健康づくりをさらに推進していくため、組織横断的連携に重点を置き実施されること」とあるが現状は如何か。 6. 「市民が健康増進に日常から関心を持てるように血圧計や体組成計（私はまず身長・体重計でよいと思う）などの設置を行い健康状態が見える化できる環境整備に努めること」、と提言しているが、どう考えるか。 7. 健康づくりに対する国の施策などの補助金交付を受け実施する等の考えはないのか。 8. 鹿島市で産官学にて地域課題の解決とまちづくりを強力に推進しているが、嬉野市において健康づくりを重点に産官学連携ができないか伺う。

様式 1 号

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8 年 5 月 18 日

通告者(議席番号 7 番)

諸上 栄大

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市 長	1. プロポーザル方式について	現在、事業に取り組まれる際、その事業者の選定方法については公募型プロポーザル方式で行われることが多い状況である。そこで以下について伺う。 ① プロポーザル手法の種類とメリット、デメリットについてどう考えるか伺う。 ② 令和 8 年度の生活困窮者支援等のための地域支援づくり事業においても公募型プロポーザル方式が採用されているが、その件について以下質問する。 ・市のホームページには、3 月 27 日に公告したものが、4 月 22 日に中止の公告がなされ、その後、5 月 1 日に新たに公告が掲載されていた。その理由の詳細を伺う。 ・5 月 11 日付けで質問書における質問及び回答が市のホームページに掲載されていたが、質問の趣旨はどのようなものであったか伺う。 ③ 嬉野市独自の公募型プロポーザル方式のガイドラインがあるのか伺う。
市 長 教育長	2. 市内の小学校・中学校について	① 市内小中学校における令和 7 年度 3 月の卒業生及び令和 8 年度 4 月の入学生の人数を伺う。 ② 令和 8 年度における各小中学校の教育目標を掲げてあるが、具体的にどのような授業を展開されるのか伺う。 ③ 令和 7 年 11 月に吉田中学校の合併に関する陳情書が提出されたが、内容も含めその件について以下質問する。 ・現在、中学校入学に際し選択制を取られている現状はあるのか伺う。
市 長	3. 新庁舎建設について	① 現在、着々と進んでいる新庁舎建設について、市民への内覧会等の実施も含め、今後の具体的なスケジュールを伺う。 ② 市民から現在の嬉野庁舎が解体される前に、嬉野庁舎を一般開放した期間を作ってほしいとの声も聞くが、そのような考えはないのか伺う。

様式 1 号

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8 年 5 月 18 日

通告者(議席番号 3 番)

水 山 洋 輔

嬉野市議会議長 田中 政司 様

記

No. 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市長 教育長	1. 塩田町の滞在型観光振興について	塩田町においては、塩田津の歴史的町並みや志田焼の里博物館など、多くの地域資源が存在しており、近年は飲食店の増加や建物の修理修景も進んでいる。一方で、現状は飲食を中心とした“点”の観光となっており、食事前後に地域内で見学や体験をしながら滞在できる仕組みや回遊性が十分ではなく、滞在時間や観光消費が伸びにくい課題もあると感じている。 また、修理修景後の建造物についても、保存に加え活用を進めていくことが重要であり、行政としての後押しも必要ではないかと考える。そこで今回は、志田焼の里博物館と塩田津を連携させた滞在型観光の構築や、地域資源を活かした回遊性向上について、以下の質問を行う。 ① 塩田津と志田焼の里博物館との観光連携について、市の考えを伺う。 ② 塩田津における窯業の歴史・文化の観光面での活用について、市の考えを伺う。 ③ 回遊性向上における行政の役割について、市の考えを伺う。 ④ 滞在型観光に向けたモニターツアー等の実証事業について、市の考えを伺う。
市長	2. 道路計画について	国道 498 号線は、県南西部を支える広域幹線道路として、防災、地域経済、観光連携など重要な役割を担う道路である。また、県道 208 号大木庭武雄線についても、山間部と市街地を結ぶ生活道路であるとともに、防災面においても重要な役割を担う道路である。これらの路線の利便性や安全性を更に高めることは、近隣市町との防災連携、商業振興、観光振興などに大きな効果が期待され、本市にとっても重要な施策であると考え。そこで、今後の道路整備について、以下の質問を行う。 ① 鹿島市の松尾市長は、2 期目の公約として、有明海沿岸道路及び国道 498 号線の早期整備を掲げられている。これら広域幹線道路の整備は、県南西部の物流、観光、防災面にお

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市長	3. 物価高対策について	いて重要な意味を持つと考えるが、本市として国道 498 号線整備をどのように捉えているのか伺う。 ② 5 月中旬に有明海沿岸道路及び国道 498 号線の整備促進に向けた要望活動を国土交通省に対して実施されているが、どのような要望を行ったのか。また、本市として特に重視している区間や課題について、どのような説明を行ったのか伺う。さらに、防災面や地域振興の観点から、国へどのような必要性を説明されたのか伺う。 ③ 県道 208 号線（大木庭武雄線）については、塩田町堤ノ上から武雄市川登町へ抜ける区間が山間部を通るカーブの多い道路であり、これまで大雨災害による通行止めも発生している。また、朝夕の通勤時間帯を中心に利用者も多く、日中においても塩田町から武雄市方面へ向かう生活道路として利用されている。トンネル化などによる道路改良を行うことで、安全性及び利便性の向上が図られ、利用者増加や広域連携強化につながるなど、鹿島市、嬉野市、武雄市にとっても意義のある事業になると考えるが、本市として、県道 208 号線のトンネル化を含めた道路改良について、県へ要望を行う考えはないか伺う。 中東情勢の不安定化や原油価格上昇等の影響により、市内事業者においては、燃料費や物流費の増加に加え、資材価格の高騰や供給不足など、事業継続への影響が懸念されている。政府においては、責任ある積極財政の取り組みとして、令和 8 年度においても各種補助金や交付金等による支援策が講じられているが、近年は民間投資誘導型の制度も増えており、小規模事業者等においては制度活用が難しいケースも想定される。本市としても、市内事業者における制度活用状況や物価高による影響等の実態把握を行うとともに、関係団体と連携しながら課題の洗い出しや必要な支援策の検討が必要ではないかと考える。 ① 原油価格上昇や物価高による市内事業者への影響について市の認識を伺う。 ② 市内事業者における国等の補助金等の制度活用状況について市は把握しているのか伺う。 ③ 国等の補助金の活用について、小規模事業者等では自己資金や人的余力の不足により制度活用が難しいケースもあると考えるが、市の認識を伺う。 ④ 商工会、金融機関、JA との情報共有や連携体制はどの様になっているのか伺う。

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8 年 5 月 18 日

通告者(議席番号 4 番)

大串 友則

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市長	1. 新幹線嬉野温泉駅前「民間活用エリア」の開発遅延と今後の対応について	西九州新幹線開業から今年の9月で4年が経過しようとしているが、駅前の賑わい創出の要となるべき「民間活用エリア」の整備が依然として停滞している。これまでの議会答弁において、市は「民間事業者による事業計画の進捗を注視し、早期着工を働きかける」との説明を繰り返してきたが、現時点においても目に見える進展がない。この現状は、市民の期待を裏切るものであり、駅周辺のポテンシャルを著しく毀損していると感じる。 そこで、以下の項目について市の見解を伺う。 ① 過去の一般質問の答弁において市が示してきた「見通し」と、現在の進捗状況との乖離をどう認識しているか。また、計画が遅延している具体的な要因（物価高騰、人手不足、事業者の資金繰り等）を把握しているか。 ② 開発がこれほど長期にわたり停滞していることに対し、土地の借地契約を交わしている民間事業者の責任をどう考えるか。契約上の「着工期限」や「ペナルティ」の設定、あるいは事業者の選定プロセスに不備はなかったのか。 ③ 事業者の自助努力に委ねる現在の「待ち」の姿勢では、今後も塩漬け状態が続く懸念がある。期限を設けた督促や、場合によっては事業者の変更（契約解除や再公募）を含めた強い措置を講じる考えはないか。 ④ 駅周辺整備を完結させ、当初の目的である「交流人口の拡大」を実現するために、市としていつまでに、どのような状態を目指すのか。明確な期限と出口戦略を伺う。

様式1号

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8年 5月 18日

通告者(議席番号 14番)

芦塚 典子

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市 長 教育長	1. 指定管理者制度について	1. 現在、指定管理者制度で管理している市の公共施設は、どれくらいあるか伺う。 2. 指定管理者制度で管理している公共施設の管理状況は適切であると評価できるか。 3. 指定管理者制度における行政のメリットの適正化は図られているか。 4. 嬉野市の指定管理者制度に関し、以下の施設における「基本協定書」等の契約事務は適切に行われたか伺う。 ① チャオシルについて。 ② 道の駅「うれしのまるく」について。 5. 協定書の法的位置は遵守されているか、また基本協定書のあり方として、新たに協定書の盛り込む「事項」についても条例等の見直しが必要であると思えるがいかがか。 6. 上位省庁からの事業改善命令等があった場合に対しては、どのように取り扱われるかうかがう。 7. 「指定管理者制度導入施設のモニタリング・評価に関する基本方針」を作成し、客観的に評価・検証の必要があると思うがいかがか。
市 長 教育長	2. 文化財の管理と保存について	1. 石碑「旧長崎街道」の設置場所は適切か。 2. 売茶翁関係石碑管理と保存についてはどうなっているのか。 3. 筒井石工石仏遺構を顕彰について、歴史的文化財としての考え方は。 4. 塩田公園（保光園）保存と簡易水道関係整備についてどのような経過になっているか伺う。 5. 和泉式部公園の句碑について。
市 長	3. 治水事業について	6月からの出水期に向け、災害対策として予定している事業を伺う。

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8年 5月19日

通告者(議席番号 1 番)

太田 政信

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質 問 の 要 旨
市長	1. 市内のキャッシュレス化について	① 嬉野市の行政窓口および公共施設におけるキャッシュレス対応率ほどの程度か。また、新庁舎移転後における原則キャッシュレス化および数年以内の完全キャッシュレス化の考えはあるか。 ② 令和6年第1回定例会の答弁において「公共施設のキャッシュレス化を検討する」とされたが、その後の進捗状況および課題はどのようにになっているか。 ③ 窓口業務において職員の負担が軽減できるよう、セルフレジ型や自動精算機の導入予定はあるか。 ④ 市内商業施設等におけるキャッシュレス決済対応の現状について、市は観光客及び市民の利便性の観点からどのように認識しているか。また、これに対する振興策は考えられないか。 ⑤ 観光振興及びインバウンド対応の観点から、キャッシュレス決済環境の整備促進について、市はキャッシュレス対応をどのように位置付けているか。 ⑥ 市内事業者に対するキャッシュレス決済導入支援(補助金、手数料支援等)を行う考えはあるか。 ⑦ 楽天モバイルスタジアムでの販売促進イベントにおいて、キャッシュレス運営のノウハウ取得も目的に含める考えはあるか。また当該イベント等で得られた知見を市内事業者へ共有する仕組みを構築することは可能か。 ⑧ キャッシュレス決済やデジタルサービスの利用実態について、市として市民目線・利用者目線でどのように検証しているか。
市長	2. 電子契約導入及び押印見直しについて	① 本市における電子契約の導入にむけた課題は何か。また、紙契約に伴うコスト削減効果について、市はどのように認識しているか。 ② 電子契約の導入を進める考えはあるか。また、その具体的な導入時期はいつ頃を想定しているか。

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市長	3. AI 活用および業務改革について	③ 電子契約の導入とあわせて、行政手続きにおける押印の廃止または簡略化を進める考えはあるか。現在押印が必要とされている手続きのうち、見直し可能なものはどの程度あると認識しているか。 ④ キャッシュレス決済、電子契約、押印見直しを含め、「現金・紙・押印に依存しない行政」へ転換する意思はあるか。 ① 嬉野市において、職員の業務における生成 AI の利用は許可されているか。また、その利用に関する明確なルールやガイドラインは整備されているか。 ② AI 利用に関するガイドラインや運用方針が未整備の場合、今後の整備方針および時期についてどのように考えているか。 ③ 現在、職員による AI の利用実態(利用率、用途等)を把握しているか。また、把握していない場合は今後どのように実態把握を行う考えか。 ④ AI 活用が今後の行政運営に不可欠であると考えているが、全職員を対象とした AI 活用研修の実施について検討しているか。 ⑤ AI 利用に伴う情報漏洩や誤情報生成等のリスクに対し、どのようなガバナンスおよび教育体制を構築する考えか。 ⑥ AI 導入による業務時間の削減やコスト削減について、数値目標の設定や効果検証を行う考えはあるか。 ⑦ 現在外部委託している業務のうち、AI 活用により削減可能な業務について見直しを行っているか。 ⑧ AI の活用により、これまで外部委託していた業務を庁内で完結させる内製化を推進する考えはあるか。 ⑨ AI 活用により業務効率化やコスト削減を実現した職員や部署を、人事評価等に反映させる仕組みを検討する考えはあるか。 ⑩ AI の進展により他自治体でも生成 AI 活用が進む中、本市として導入可能性や活用分野をどのように検討しているか。 ⑪ AI の活用によって生まれる人的・財政的余力が生まれるとしたら、市民サービスの向上にどのように再配分していく考えか。 ⑫ 国、特にデジタル庁において AI 活用の推進が進められている中、本市としてその方針にどのように対応していく考えか。 ⑬ AI の導入にあたり、「リスクがあるから使わない」のではなく、「安全に使うためのルール整備を行う」という考え方についてどのように認識しているか。

		⑭AI 技術が急速に進展する中、本市は行政 DX や業務改善をどのようなスピード感で進めていく考えか。 ⑮AI 技術の活用について、市長は今後どのような方針で行政運営を進めていく考えか。
--	--	---

様式1号

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8 年 5 月 25 日

通告者(議席番号 15 番)

梶 原 睦 也

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市長	1. 避難所の環境整備について	避難所における生活環境の改善は重要な課題となっている。能登半島地震はじめ各地の災害においてトイレ不足や暑さ対策の不備、ペットの動向避難など様々な課題が浮き彫りとなった。これらに対する本市の対応について伺う。 ① 災害時の避難所のトイレの確保は出来ているか。 ② 非難所の空調管理については十分か。 ③ ペットの同行避難についての考えは。
市長 教育長	2. 給水スポットの整備について	現在 U-Spo には給水スポットが設置されているが、他の公共施設への設置は検討されないか。 ① U-Spo での利用状況はどうか。 ② 学校現場での水筒持参の状況はどうか。給水スポットの検討は行わないのか。
市長	3. 会計年度任用職員と任期付き職員について	会計年度任用職員と任期付職員についての現状と採用方法について伺う。 ① それぞれの位置付けと採用方法はどのようになっているか。 ② 庁舎移転後を見据え、今後の人材確保についての考えと方策は。

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8 年 5 月 25 日

通告者(議席番号 9 番)

山口虎太郎

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	1.温泉資源保護について	1.温泉資源保護のためのルール作りについて、県との話し合いはどのように進んでいるのか伺う。 2.温泉資源保護のための市民を含めた協議会設置はどのように考えているのか伺う。
市長	2.旧医療センター跡地活用について	1. 前回旧医療センター跡地活用について3分割での説明をされたが、企業誘致の場所として方向性を定め、計画を練りなおす考えはないか伺う。
市長	3.地域交通手段について	1. 一部バス路線廃止に伴い、どのような地域住民の声があったか。またそれを今後どのように政策化されていくのか伺う。 2. 嬉野市新庁舎供用開始が10月から予定されているが、嬉野・塩田線への交通手段の計画はなされているか伺う。

様式 1 号

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8 年 5 月 25 日

通告者(議席番号 6 番) 阿 部 愛 子

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市長	1. 高齢者の難聴に対する支援について	① 令和 7 年度から基山町が 40 歳以上の軽・中等度難聴の町民に対し、補聴器購入費の 1 / 2 の助成（片耳 5 万円・両耳 7 万 5 千円）を県内で初めておこなっている。嬉野市においては聴覚障害の 2, 3, 4, 6 級の身体障害者手帳保持者及び 18 歳以下の軽度・中等度難聴児以外の難聴者の支援はどのようになされているか。 ② 嬉野市で高齢者の軽度・中等度難聴者の補聴器購入に対し補助をおこなう考えはないか。 ③ 聴こえのフレイルの予防並びに早期発見・早期対応を行うことにより聴こえの状態を改善し、人とのコミュニケーションや社会活動への参加を促進することで、高齢者の社会的孤立を防ぐとともに、介護予防や認知症予防、ひいては健康寿命を延ばすことにつなげることを目的に総合的な「聴こえのフレイル対策」を実施することは考えられないか。
市長	2. 妊婦健診助成拡充について	① 現在妊娠 4 0 週まで 1 4 回の妊婦健康診査が受けられるが、妊娠 4 0 週を過ぎても、出産直前の経済的・心理的負担を軽減し、安心して必要な妊婦健康診査を受けられるよう、妊婦健康診査の助成期間を延長・拡充することはできないか。 ② 嬉野市では妊娠 4 0 週を過ぎて出産した人は年間何人か。また出生数全体に対してその割合はどうなっているか。

様式1号

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8 年 5 月 25 日

通告者(議席番号 2 番)

團 隆則

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市長	1. 伝統産業の業界活性化について	1 嬉野市の窯業・陶土業について ① 嬉野市として、吉田の窯業・吉田川・塩田川流域の陶土業を地域資源、産業振興の中でどのように位置づけているのか伺う。 ② 窯業・陶土業の人材確保や担い手育成について、現在どのような課題があると認識しているのか伺う。 ③ 窯業・陶土業を市民や若い世代、市外の方に向けて、より広く知ってもらい取り組みが十分であると考えているのか伺う。 ④ 窯業及び陶土業関係者、観光、商工、教育、地域団体などと連携し、町を上げて嬉野市の窯業・陶土業を盛り上げるイベントや企画を検討する考えはないか伺う。 ⑤ 窯業・陶土業の魅力発信、イベント企画、人材確保を一体的に考え、今後の施策改善につなげる考えはないか伺う。
市長	2. 企業誘致の方向性について	1 企業誘致について ① 嬉野市における、現在の企業誘致の状況をどのように評価しているか伺う。 ② 吉田地区の住民より、企業誘致に関して変化がないことについて疑問を持たれている現状がある。嬉野市として企業誘致が進みにくい要因をどのように分析しているのか。 ③ 東吉田地区だけではなく、久間工業団地など、嬉野市全体で今後どのような業種や企業を主な誘致対象として想定しているのか伺う。 ④ 企業向けの情報発信や個別の働きかけについて(嬉野市 HP での専用ページ、武雄、有田と協働でセミナーの開催など)、現在の取り組みで十分と考えているのか、改善の余地があると考えているのか伺う。 ⑤ 現在の誘致戦略を検証し、今後の改善策を具体的に整理していく考えはないか伺う。

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市長	3. 買い物・移動支援について	1 買い物・移動支援について ① 食料品店がない地域における買い物支援・移動支援の必要性をどのように認識しているのか伺う。 ② 現在、介護予防事業に参加した後、マイクロバスで隣町の食料品店へ買い物に行く取り組みが塩田地区で行われているが、嬉野市として、この取り組みをどのように評価しているのか。 ③ 現在の取り組みだけで買い物支援また移動支援の課題に十分対応できていると考えているのか、又は改善の余地があるか伺う。 ④ 移動支援が必要な地域で、乗り合いタクシーの利用者のニーズとして、予約できる日を当日も可能にするなど柔軟な対応が求められているが、こうした現場の声をどのように把握しているのか伺う。 ⑤ 食料品店がない地域において、買い物支援を継続可能な生活支援として整理し、今後の改善につなげる考えはないか伺う。
市長	4. 子育て支援の施策について	1 子育て支援について ① 親子で参加できる体操教室やベビーマッサージなどの事業において、親子参加型事業の意義を、嬉野市としてどのように認識しているのか伺う。 ② 近隣市町からも嬉野市の親子参加型事業への参加が増えていると聞いている。市の強みとして活かせる可能性があると考えますが、嬉野市としてこの状況をどのように評価しているのか。 ③ 子育て世代から選ばれるまちになるために、親子参加型の事業に加えて、日常的な子育て負担を軽減する市独自の支援策も重要ではないかと考えるが、子育て世帯の経済的負担を軽減する独自施策の必要性について、どのように認識しているのか伺う。 ④ 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、例えばおむつ代補助など独自支援策を検討する考えはないか伺う。 ⑤ 子育て世帯のニーズを把握し、必要に応じて本年度また次年度以降の施策検討につなげるための調査や、課題整理を行う考えはないか伺う。

様式 1 号

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8 年 5 月 25 日

通告者(議席番号

10 番)

宮崎 良平

嬉野市議会議長 田中 政司様

記

No. 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市長	1. 中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格高騰への市の対応について	1. 中東情勢の緊迫化が日本のエネルギー供給に与える影響について、市としてどのように認識しているか。 またエネルギー価格高騰が嬉野市の家庭・事業者（観光業・農業等）に与える影響について、市としてどのように捉えられているか伺う。 2. 市民生活および地域産業への影響を緩和するため、市としてどのような支援策・対策を検討しているか。
市長	2. 市の財政運営について	1. 令和 8 年度当初予算は、骨格の段階でありながら過去最大規模の予算となった。その要因と財政の硬直化への懸念について市長の見解を伺う。 また財政調整基金の適正水準と今後の中長期的な見通しを伺う。 2. 公共施設の維持管理費の将来予測と、再編計画について市の考えを伺う。 3. 新市長になり総合計画も見直される中、中期財政計画の計画との整合も行うべきと考えるがいかがか。 4. 歳入増、特に自主財源の増については（企業誘致、観光振興（入湯税、宿泊税）、ふるさと納税等）が考えられるが、市が考える強化方針について伺う。